

参加していただいた学生のみなさん（敬称略）



きむれ はる香
木牟礼 はる香

【物質・環境工学科 4 年】
(宮崎県出身)



おたぐろ いぶ
大田黒 一舞

【物質・環境工学科 4 年】
(佐賀県出身)



かなもり 健二
金森 健二

【大学院 2 年】
(兵庫県出身)

「教授との距離が近く、しかも丁寧に教えてもらえます。恵まれた学習環境ではないでしょうか。」

----- 最初に山口東京理科大学に進学した理由などを聞かせてください。

【管】予備校で東京理科大学卒の素晴らしい先生に出会ったことがきっかけです。ぜひ、後輩になりたいと勉強したのですが、あえなく受験に失敗。そこで、東京校への編入をめざし、とりあえず、山口校に入学したのですが、今では、すっかりここが気に入っています。学科内みんな友達という雰囲気があって、居心地がいいのですよ。4 年間ここでしっかりと学びたいと思います。

【藤林】出身は山陽小野田市で、小野田高校卒業です。この大学を志望した理由は、やっぱり地元ということが大きかったです。他の大学に行くよりは安くつきますしね。将来はコンピューターのプログラマーになりたいと考えています。

【金森】ここの南極研究の先生（菊地教授）に憧れて入学しましたが、現在はセラミックスという非常に面白い分野の研究に没頭しています。研究の進め方、文献の調べ方、英語での論文の書き方など丁寧に指導を受けることができ、研究環境に恵まれたと思います。

【西本】今、就職活動をしているところですが、できれば生物分野の研究職につきたいと考えています。この大学に入った理由は東京校への編入が目的でした。それは叶いませんでしたが、今、大学院の研究室で行っている実験は充実しています。がん細胞を使つての実験です。脳梗塞の治療の研究なども行っています。

【大田黒】私は 2 人の兄がともにここの卒業生で、

教授陣、研究施設など自分のやりたいことを実現できる環境が整っていることを入学前から聞いていました。実際に入学したら、その通りでした。教授もとても身近に感じられます。4 年生になったら、みんな顔見知りで、高校よりもこじんまりまとまっているような気がしますね。

【木牟礼】私は本当は国立大学志望だったのですが、いろいろと大学を調べているうちに、環境工学という私の興味にぴったりの学科があったのが決め手です。小さい大学なので、聞きたいことを遠慮なく教授に聞ける学習環境が気に入ってます。将来の夢は研究職ですね。車から排出されるガス、熱伝材料からほかのエネルギーを作り出す実験をしています。

【管】とにかく教授が丁寧に対応してくれますね。高校の時に未履修だった科目についてもみっちり教えていただきました。

【金森】そうですね。学生食堂に行ったら、教授と一緒に食事ができる気軽さがいいですね。いろいろな話ができて勉強になります。

----- 卒業したら、この地域に残って働くつもりですか？

【管】自分のやりたいことができるような企業があるなら残るつもりです。

【西本】そういう点では、自分のやりたいことは大都市圏に行かないとないですね。

【金森】自分の研究がもともと地元にあるものを使うて行うスタイルなんですね。例えば、美祢のカルシウム、宇部のマグネシウム、そのようなものを使って研究を続けていくことが理想です。このあたりは資源が豊富にあるのが魅力的です。それに山口に長く暮らしていますので、いつかは地元